



学び続け、成長し続ける 諸塚小学校

諸塚小
だより

やまびこIII

令和5年11月
諸塚小学校
校長 杉山智子



学びの広がり

2学期は、たくさんの学校行事があります。10月後半には、子どもたちが楽しみにしていた修学旅行や社会見学が行われました。学校から外に出て、働いている様子や施設を見せていただいたり、仕事の工夫や努力などについてお話を聞いたり、その土地の歴史や文化にふれたりして、学びを広げることができました。

1, 2年生 諸塚木材加工センターへ



3年生 Aコープ、しいたけ選別所、木材流通加工センターへ



4年生は日向市

清掃センター、歴史民俗資料館へ



**5, 6年生 鹿児島～熊本
修学旅行**

初めて訪れた場所で、力を合わせて活動することが試される場となりました。



荒谷小学校の子どもたちと校外学習に出かけました。(M2学習) 交流をさらに深めることができました。

また、10月24日(火)は、世界のアルピニスト野口健さんが世界農業遺産(GIAHS)アンバサダーとして諸塚小学校に来校されました。5,6年生の子どもたちは以前から、「諸塚をきれいにしたい」という思いを発信し、自分たちにできることを提案してきましたが、今回、野口さんと活動できることを機会に、台風で折れた木枝やそこにたまった枯れ葉を集める清掃活動を行い、集めた木枝で「弓きり」という古代火起こしの装置を使って、「火起こし体験」をすることにしました。苦戦しながら起こった火種を大事に集めて「たき火」にすることができ歓声が上がりました。活動のあとの交流でも、質問をしたりお話を聞いたりして、野口さんと楽しくふれあい、学びを広げることができました。

この活動をとおして、ふるさとのために「(小学生の)自分たちにもできること」を考え、行動にうつすことが、これからの諸塚を支える一員として大事なことだと改めて感じました。

先生達も学び合い



11月1日(水)は、村内の幼・小・中学校の先生方が集まって、子どもたちがもっている力を十分に発揮できるための保育や授業について考える「諸塚の教育を考える会」を行いました。先生達も学びを広げたり深めたりしようとがんばっています。